

赤こんりポート

東知樹リポーター



琵琶湖に生える山

7月4日の夕方、長命寺付近の湖岸へ取材に行きました。この日は久しぶりの晴れの日で、夕陽が湖面に反射してとてもきれいでした。また対岸は霧のようなものが立ち込めており、まるで湖から山が生えてきているような景色になっていました。近くにはまだ緑色のもみじがあったのですが、美しい夕焼け空を背景に見るもみじには、目を引かれるものがありました。水ヶ浜ではアジサイが咲いており、山からの連日の雨水が滴っていて、季節を感じる体験をすることができました。

赤こんりポート

馬場利男リポーター



西の湖で自然のヨシ観察

近江八幡市緑の少年団が安土B&G海洋センターで、西の湖に群生するヨシや野鳥を観察する研修会を6月22日に開催し、少年団14人、保護者11人、スタッフ6人、ポレポレ25カヌーチーム10人が参加しました。

団長のあいさつ後、全員でカレー作りの準備を行い、その後、カヌーチームの代表からパドルのこぎ方やヨシ巡りの探索について指導を受けました。少し風があるなか、指導員を先頭に1便と2便に分かれてカヌーで西の湖へ出発。ヨシの群生地近くは波も穏やかで、野鳥が居ないか1時間近く探索を行いました。探索が終了したころには、カレーはできあがっていて、全員でおいしい食事をいただきました。初めて参加した団員は、「カヌーは初め難しかったけど、慣れてきたら前に進むようになった。来年もやりたい」と話していました。

赤こんりポート

松村美沙枝リポーター



まちづくりの異業種交流 近江八幡市で初開催

6月21日、ひまわり館で「第1回まちづくり団体育成支援補助金採択団体交流会」が開催されました。「近江八幡をよりよい街に」という思いでこれまでに採択された団体を対象に、当日は27団体34人が集まり、お互いの活動内容の紹介や、テーマ別の意見交換などを行いました。

市内では子育て支援や環境保全、地域活性、歴史資産継承、障がい者支援など、さまざまな分野の団体が多数活動しています。「今日集まったご縁につながり、地域課題解決をより進めていけたら」と期待の声が参加団体からあがっていました。

赤こんりポート

山田恵美リポーター

もしものときに
みんなで守る 備える 支えあう 消防団活動

市内では、消防団が1団12分団で活動しているのをご存じですか。各分団には消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ、また沖島には消防艇が配備され、災害現場では防御活動にあたっています。女性団員4人が在籍するOFL分団（近江八幡ファイヤーレディース分団）では、防火訪問や火災予防などの広報・啓発活動を主に行っており、他分団と一緒に幼稚園や保育所などに訪問しています。

6月27日、安土分団とOFL分団が訪問したのは安土幼稚園。子どもたちに向けて防災紙芝居を読んだり、煙からの逃げ方、服に火がついてしまった時の対処法など、「みんなの命を守るためにたいせつなこと」を話したりしました。子どもたちは消防車の見学も行い、みんな興味津々でとてもうれしそうでした。

7月1日～8月31日

涼しい空気と音色を楽しむ
八幡山で七色風鈴

八幡山ロープウェイでは、現在「夏の八幡山ロープウェイから七色風鈴と御朱印の旅へ」と題して風鈴の設置と「御朱印スタンプラリー」のイベントを開催しています。

七色に彩られたフォトジェニックな空間と、風鈴が奏でる涼し気な音色が楽しめる「七色風鈴」は、山頂展望館付近の遊歩道に設置されています。今春からの新企画「御朱印スタンプラリー」は、好評につき、今夏も開催されています。スタンプラリー用の台紙は、乗車券購入時に申し出ると、係員からもらえます。

夏の暑い日々、山頂の涼しい空気と音色を楽しみましょう。期間は8月31日(土)までです。

7月3日

みんなで考えよう！
「ちょっとおもしろい子育てができるまち」

市内の子育て支援団体の代表者などで構成する「ぱぴゅべぽ」の主催で、子育て中のパパやママを対象にした、カフェ形式のワークショップ「第1回ぱぷcafé」が開催され、メンバーや保護者など28人がひまわり館に集まりました。

当日は、地域の活動者のお話を聞いたり、子育てに関する場所やイベントを書き出すワークをしたり、参加者同士で情報交換を行ったりしました。また、最後に子育ての「あったらいいな」ということをグループで話し合いました。

事務局の秋村加代子さんは「この活動を通して、パパやママたちが笑顔でいる時間が少しでも増えればうれしいです」と話していました。

7月2日

全国3位の快挙達成
全国少年柔道大会 入賞報告会

今年5月5日に東京都の講道館大道場で開催された第44回全国少年柔道大会で、愛荘町柔道スポーツ少年団柔仁会が3位に輝き、同会に所属する安土小学校5年生の篠原優希さんと武佐小学校5年生の大西蓮皇さんが、大会の結果を小西市長に報告しました。

報告会に2人は道着姿で市役所を訪れ、受賞した賞状とメダルを持参。市長から「おめでとうございませう。来年はさらに上の優勝を目指して頑張ってください」とお祝いと激励の言葉を授けました。篠原さんは「全国大会出場だけでなく好成績を収められてよかった。次は優勝したい」、大西さんは「来年は全国優勝できるように頑張ります」と決意を新たにしていました。

6月23日

息を合わせて
みんなでつくる300人の大合奏

滋賀新堀ギター音楽院の主催で、県内外からギターやウクレレ、よし笛に大正琴、バイオリン、フルートなど、種類を問わずさまざまな楽器を持ち寄り、みんなで一緒に演奏するイベントが文化会館で開催されました。

本番では、「フレール・ジャック」と「線路は続くよどこまでも」を演奏。初顔合わせの人が多く、同音楽院の小山清さんの指揮に合わせて、息のあった演奏がホールに響きました。小山さんは「皆さん高い実力を持った人たちで驚いた。来年はさらに規模を大きくして、1,000人で開催したい」と話していました。